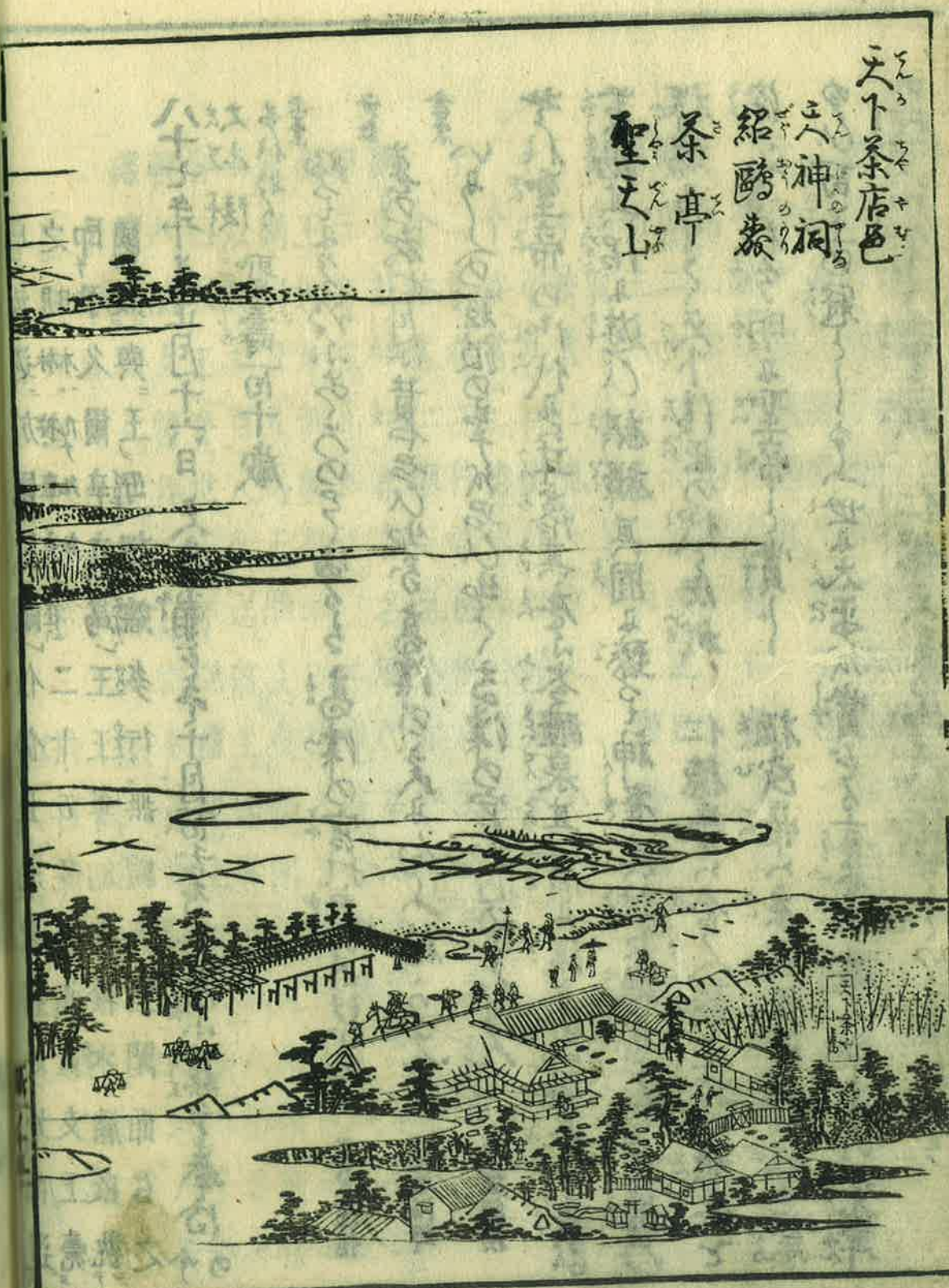




寶倉
三支
三支



天下茶屋村
是齊
茶店

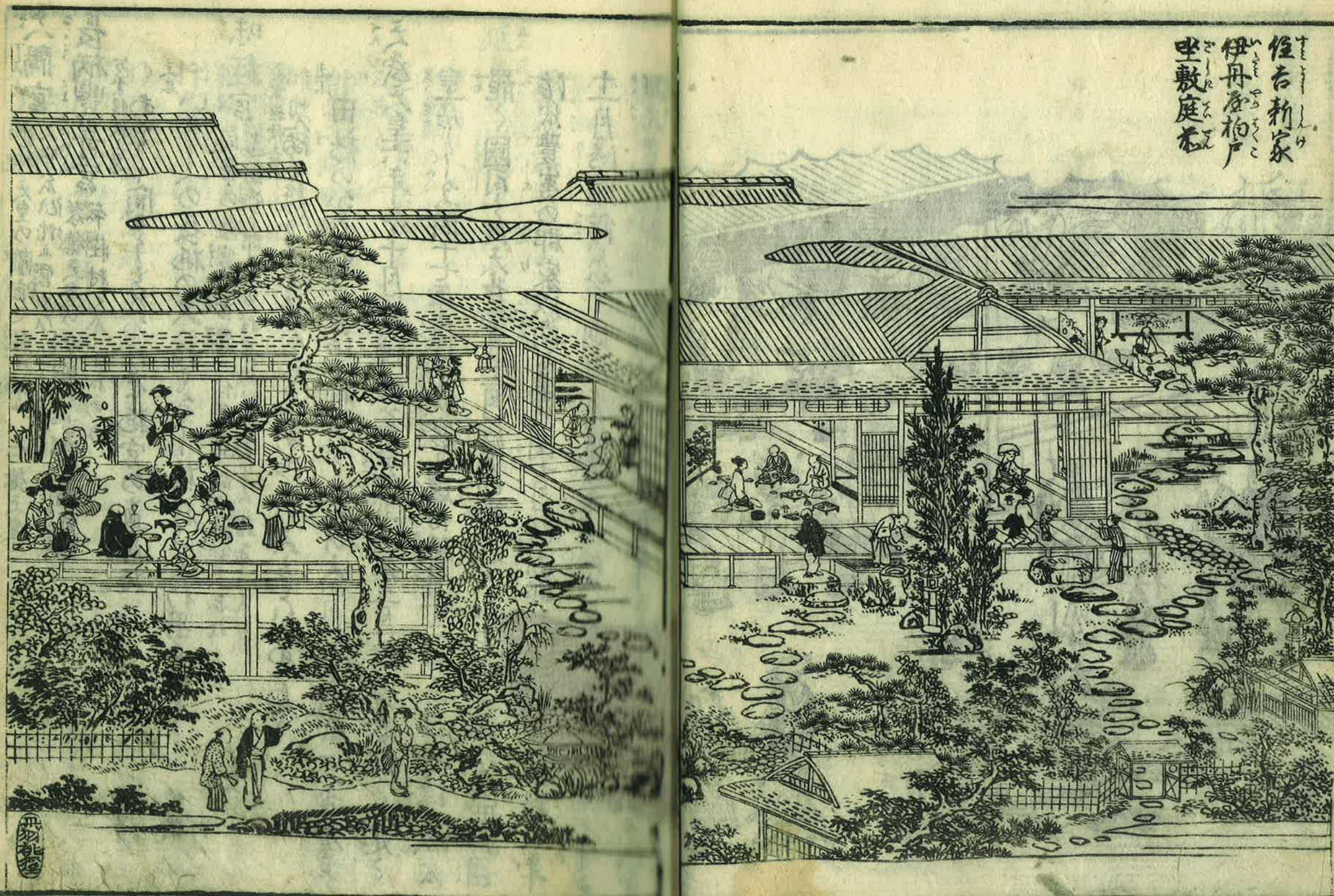




恒吉新築
 三文字屋
 質食店



佐々木新家
 伊丹屋柏戸
 坐敷庭花



八隅宮 應神天皇の離宮と傳ふ後仁徳天皇

長柄豐寄宮 孝徳天皇の皇居と古蹟西成郡

万葉集卷上 向ふくみかみ長柄宮の直木柱 下畧

まよ 一の長柄のまよわさ 橋柱まよ朽果る世す 公卿

味經宮 同帝の離宮と古蹟仁徳帝故宮の北と傳ふ

万葉集卷上 見ゆくはくしそ清合むあちのまよわさ 公卿

まよ 田鶴のかくわの清合めれ味經のまよわさ 公卿

天武天皇六年冬十月攝津職と置天平十六年二月難波宮に定む

皇居とて同十七年復平城宮に遷延暦十二年三月攝津職に

罷く國司とて天長二年一月江南四郡とて和泉國に隸後夏四月國

法公豐客の郡家以南に遷次國七月江南四郡と本國に還り美和十一年

十月鴻臚館をく國府とて建武年中河内守楠成兼て本國と守る

延元中亦に能資河内西の地と據略次文和元年と傳ふ本秀詮これ代る

應永七年和州和泉郡に遷る

八十四年明應中蓮如上人布教寺とて改め建武の初頭如上人城とて

織田候諸將とてあれと改る天正十一年豐太閤其城と益拓てを居り

延喜公曰攝津國十二郡住吉百濟 今住吉東生の二郡に入

今廢郡の名あり 東生 上古難波 西成 上古難波 鳥上 鳥下 豐嶋

已上二郡上古澤 河邊 武庫 日本紀 菟原 八部 或云八部 有馬

能勢 和銅六年九月攝津職をて河邊郡に佐々村山川遠隔ありと通

准次請ふより河邊郡司署とてある

倭名類聚鈔曰田一萬二千五百二十五町百七十八歩正公十八萬五千束 本指四八萬束

押部邦海陸の都會天下の要衝あり西川の喉口 皇州の國威

あり群芳右不統平野左連瀝水内貫江海外抱く

乙川の明繁田野の懷腹海濱の廣斥澤國の佳致あり他國

小段を度

住吉神社

其外社頭攝社
神宮寺院名所
古跡是より興
巴丁は遠く細画
敬悉標記あり
文面とあり
堂とあり

津守殿館

後援
吾君を祀るを尊ぶ
祈りか代々
清く此神の
まこと

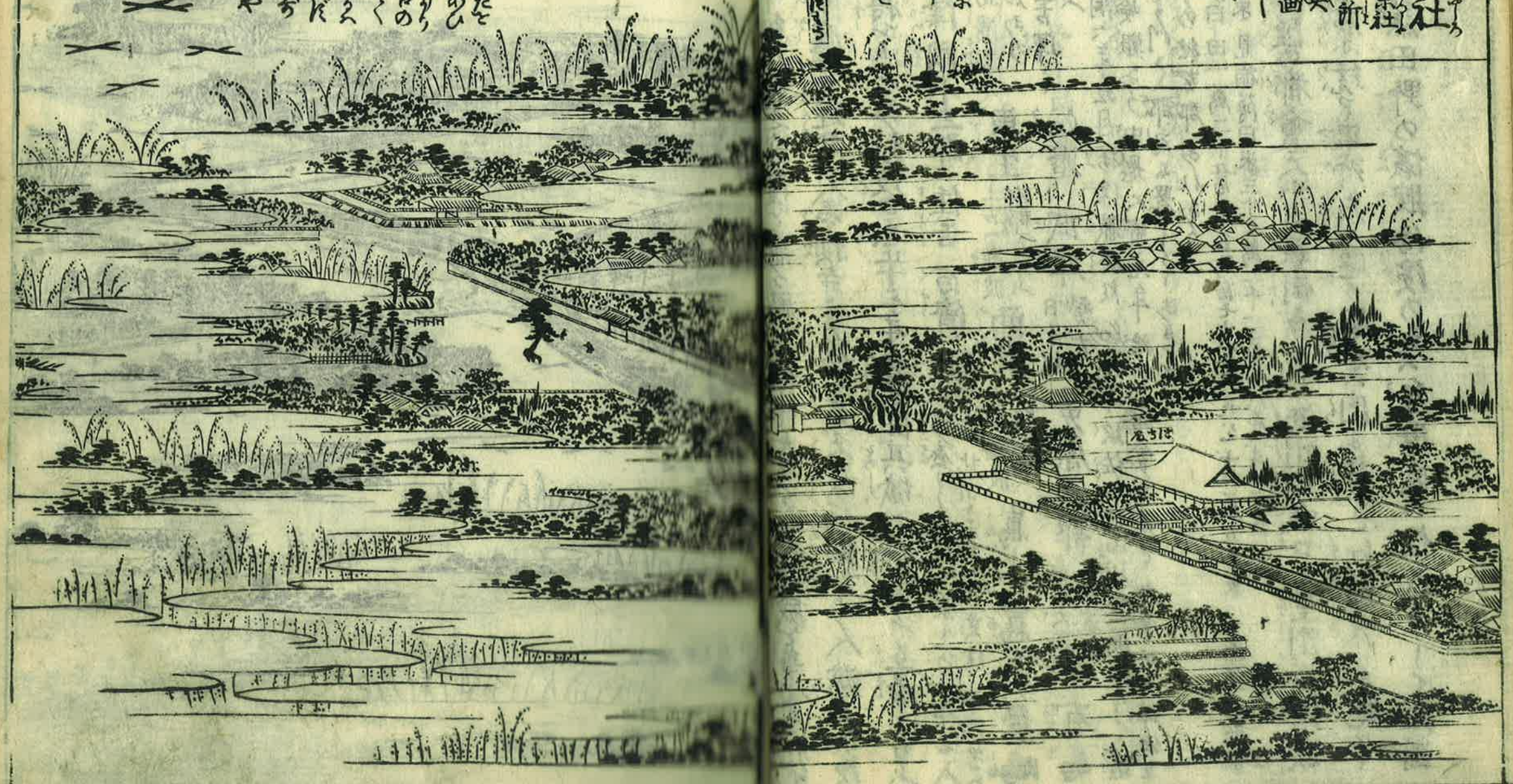
津守殿

古今
かきとくし
おやまたた夜や
うきとくし
ゆきあひの橋ふ
新やかくらん

いさか
やこそ
のきふた
とて
神祇の
いさか
まふ
こま

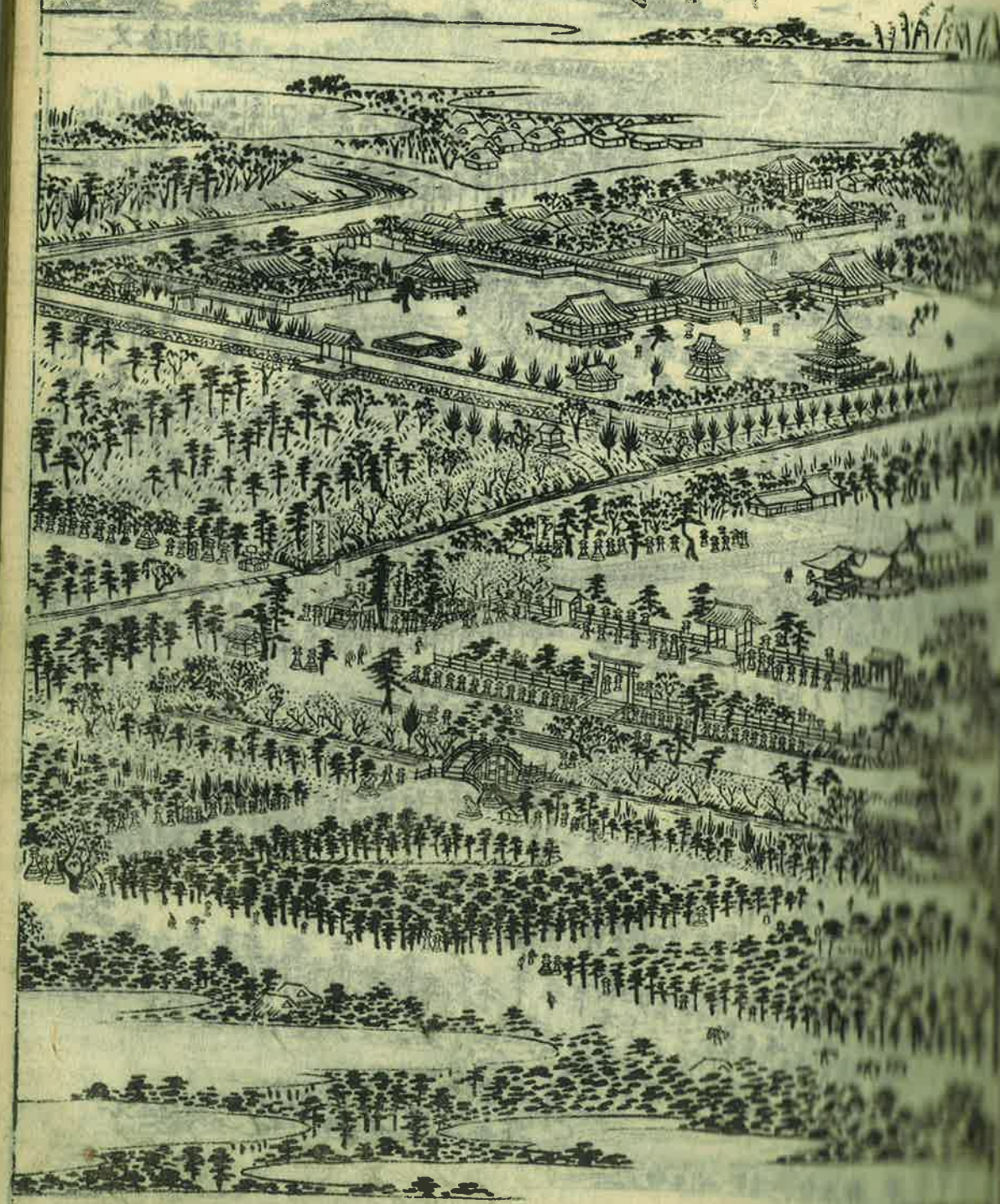
いさか
やこそ
のきふた
とて
神祇の
いさか
まふ
こま

住吉神社



石生之志

寺宇



本位
社右

